

事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 タウン・コンパス	
2 事業名称	能古島の漁業・農業・観光の連携による魅力づくり	
3 実施日時	平成22年5月8日～9日、平成23年2月11日	
4 実施場所	福岡市西区能古島	
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)*できるだけ詳細に</p> <p>能古島は漁業(アサリ、カキ養殖)、農業(果樹園、野菜)、観光(アイランドパーク等)の事業で成り立っており、これらの事業の連携で島の魅力もアップする。特に、能古島は放置竹林で覆われており、これを適切に管理・利用することが重要である。今年度は、三者の協力で放置竹林伐採、チップ化とその利用を試みた。また、7～10月に那珂川の福博であい橋～能古島間の水上交通社会実験が運航され、今年3月からは本格的な事業として運航されることになり、観光客の増加が期待される。</p>	
	<p>(事業実施効果)</p> <p>本事業に参加された地元の住民農家、観光事業者が放置竹林を能古島の新たな観光資源として活用することになった。例えば、観光事業者が観光客の少ない時期に竹林整備を行い、筍の時期に水煮筍を販売したり、地元で捕獲された猪鍋に筍を入れて提供する等を考えている。また、竹林整備に参加した地元果樹農家が剪定木用にチップパーを所有し、それを竹チップ化に利用できることも判った。また、放置竹林を整備管理することで、能古島ハイキングコースを整備し、自然の魅力を楽しんでもらうこともできるようになることになった。</p>	
6 参加内訳	総人数	40名
	(1) 主催者参加	12名
	(2) 日本人参加 ((1)を除く)	28名
	(3) 外国人参加 ((1)を除く)	名
7 今後の方針	<p>放置竹林の整備・管理を進める上では、ボランティアだけでは不可能で企業が参画できる仕組みが必要となる。能古島には観光事業者が存在しており、観光事業の振興を軸にして農家、漁業者、住民、市民等の協力で竹林の活用を図っていく。</p>	

状況写真（伐採中 H22. 5. 8-9）



状況写真（伐採後 H22. 5. 8-9）



状況写真（参加者 H22. 5. 8-9）



状況写真（チップ処理後 H23. 2. 11）



状況写真（能古島アイランドパーク竹活用）



状況写真（チップ未処理分を島外搬出 H23. 2. 11）

